

# HLA 遺伝子 (phenotype ; 蛋白レベル) を 指標とした癌治療班

研究班代表

福島県立医科大学医学部 医学部器官制御外科 竹之下 誠一

東海大学医学部 消化器外科 生越 喬二

平成21年度の班研究会議は下記の日時に行われた。

平成21年6月17日 (水) コラッセふくしま

## 班会議で明らかになった問題点

本研究のアイデア、すなわち、似たような (not same) な遺伝子情報を持った人同士は、同じような病態、治療反応性 (今まで検討しえた治療法: 無治療 (切除単独)、切除+PSK 療法、切除+F 療法、切除+FPSK 療法、切除+MMC 療法、切除+MF 療法、切除+MFPSK 療法) を持っている。このアイデアは、HLA の遺伝子情報で分類された群 (HLA type 分類) で推薦された適切治療施行例が予後良好であった HLA-oriented study にてある程度証明されたと考えている (参照: Annals of Cancer Research and Therapy. 16, 36-43, 2008)。しかし、その適切治療施行患者での長期生存例の抽出は不成功であった。

そこで、今回は、測定できた HLA antigen に score をつけ、個人個人の HLA score を算出し、それを基に、個人を同定できる parameter (pair-match score と称する: 新しい個人が同定できる人工的な遺伝子情報?) を作成することを試みた。

次の問題点が指摘された。①下記に示した適切治療法の概念、term が参加委員の間で異なっている、②その適切治療という term 自体、その概

念が存在するか、その概念にあった term の日本語、英語は何かなど、問題点が指摘され、委員の間でも理解が異なっていた。そのため、term の定義を提案する必要性が認められたので、その定義を提案したい。

## 個人の適切治療法を同定するために

下記の方法を模索することにより、その可能性を探求する。

### 治療法ごとの HLA antigen score とは

その抗原を持っていると治療効果が期待できる場合にはプラス得点、その抗原を持っていると治療効果が期待できない場合にはマイナス得点とする。結果として、プラス得点が高値であると、その治療法で恩恵を得る可能性がある。7つの治療法ごとに HLA antigen score を算出する。

### 個人の HLA score とは

個人の持っている HLA 抗原の score の総和で、7つの治療法ごとに算出する。

### Pair-match score とは

個人の HLA score を用いて、治療結果により HLA score を治療法ごとに2~4つ分類する (HLA score を全員生存群、中間群、全員死亡群、分類不能群など)。

個人が属するグループを無治療（切除単独）、切除+PSK療法、切除+F療法、切除+FPSK療法、切除+MMC療法、切除+MF療法、切除+MFPSK療法の順に並べたもの（group score）を pair-match score と称する。

[ここで述べる適切治療法の効果とは]

同定された適切治療法を施行すれば、5年または10年以上生存する可能性がある個人に合った治療法のこと。

#### 適切治療群とは

適切治療が同定され施行された症例群

#### 適切治療群 a とは

治療法（no therapy、PSK、F、FPSK、MMC、MF、MFPSK 治療）のいずれか1つが適切治療法として同定でき、その治療法が施行された症例群

#### 適切治療群 b とは

複数の治療法が適切治療法として同定でき、そのうちのいずれか1つの治療法が施行された症例群

#### 不適合治療群とは

適切治療が同定されたが、それらの治療法が施行されなかった症例群

#### 不適合治療群 a とは

適切治療法が1つ同定されたが、その治療法が施行されなかった症例群

#### 不適合治療群 b とは

適切治療法が複数同定されたが、それらの治療法がいずれも施行されなかった症例群

#### 分類不能群とは

HLA score、pair-match score が算出されなかった症例群、または、いずれの治療法も適切治療法として同定できなかった症例群

#### 今後の方針

HLA antigen score の簡便化を通じて、会員の理解を得る努力をし、custom-tailor made therapy (personalized therapy) の可能性を追求する。

#### 《興味ある会員の先生方へのメッセージ》

上記で言う“適切”治療の概念に合う適切な日本語と英語を応募します。事務局のメールにお送り下さい (ogoshi@q-life.org)。